

第2号様式その1（第5条関係）

記載例：団体の役員等の場合

功 績 調 書

(個 人)	○記載にあたってのお願い 1 「上越市表彰候補者推薦の手引き」の3ページ「書類作成上の注意点」をお読みください。 2 「功績事項」欄には、下記の記載例のとおり、候補者の取組や活動の功績内容について「<u>公益性</u>」、「<u>困難度</u>」、「<u>効果</u>」、「<u>独自性</u>」、「<u>協働・連携性</u>」の各項目に分けて、それぞれ具体的に記載してください。※記載する項目の順番は任意です。		
住 所			
ふりがな			
氏 名			
該 当 条 項	条例第2条第1項第2号	功績内容等	ア
功 績 事 項	氏は、平成15年4月から平成18年3月まで〇〇会〇〇連合会 監事として、また、平成18年4月から現在までは同会長として、持ち前の卓越した指導力と専門知識を遺憾なく発揮し、市内〇〇業の振興に寄与した。 氏が理事に就任した当時、〇〇業は、若者人口の流出や後継者難のため、低迷の一途をたどっていた。このような中、氏は、既存事業の継続だけでは、地域経済が衰退すると懸念し、新規事業の展開が不可欠であると考えた。 （独自性） 氏は、〇〇業の魅力を子供たちに感じてもらうため、平成18年10月から「〇〇〇〇事業」を実施し、年間約2,500名もの子供たちが参加した。また、平成25年4月から年6回、会員の資質向上のため「〇〇〇研修会」を実施し、ときには自らが講師を務めるなど、精力的に後継者の育成に取り組んだ。 （困難度） 地域経済の発展のために最も重要なことは、次の担い手である若者たちの発想を活かすことであった。平成26年3月、氏ひとりで、地域の若者30名で構成する〇〇〇〇会を立ち上げ、自らもその場に参加した。 （協働・連携性） 氏は、若者たちのその斬新な発想を採用し、また行政機関の協力を得て、平成27年に〇〇〇〇事業として実現に至った。 （効果） このような取組みの結果、〇〇業に従事する人が、平成18年比で〇〇人増の〇〇〇人と過去最高を達成するとともに、売上げも年々増加し、地域経済に大きな効果をもたらした。 （公益性） また、これらの事業が注目を浴びることになり、次第に市内各地域でも同様の事業が実施されるようになるなど、市の〇〇業に大きな功績を残した。		
その他参考事項			

第2号様式その1（第5条関係）

記載例：ボランティア活動等の場合

功 績 調 書

（個 人）

住 所	○記載にあたってのお願い 1 「上越市表彰候補者推薦の手引き」の3ページ「書類作成上の注意点」をお読みください。 2 「功績事項」欄には、下記の記載例のとおり、候補者の取組や活動の功績内容について「<u>公益性</u>」、「<u>困難度</u>」、「<u>効果</u>」、「<u>独自性</u>」、「<u>協働・連携性</u>」の各項目に分けて、それぞれ具体的に記載してください。※記載する項目の順番は任意です。		
ふりがな			
氏 名			
該 当 条 項	条例第2条第1項第5号	功績内容等	イ
功 績 事 項	氏は、これまで障害のある家族を抱えながら日常生活を送ってきた経験を活かしたいとの思いから、平成17年4月から毎月2回、障害のある人の家族を支援するために、無償で障害のある人を自宅に預かる活動を開始し、また、翌年からは月1回、自らの経験に基づいた講演会や相談会、家族交流会を開催した。 （協働・連携性）（独自性） その後、この活動が広く知れわたり、平成18年4月、市内各地域の市民の賛同を得て、ボランティアグループ「○○○○○○」が結成された。 活動内容も従来に加え、障害者支援の普及啓発事業や社会復帰事業を展開した。特に、社会復帰事業として、障害のある人にもものづくりの楽しさと喜びを感じてもらうため、週1回、手作り○○○○講座を開催し、市内施設に手作り作品を展示した。この作品は、来場者から好評を博し、平成27年10月から市内の○○施設で、販売されることになった。 （困難度） 障害の程度によって社会復帰に向けた対応の仕方が異なるが、氏の豊富な経験と、ボランティアスタッフの積極的な参加により、きめ細やかな対応が可能となっている。 （公益性） これまで、○○地区を対象としてきた活動範囲も市内全域に拡大され、現在では、○○○名を対象として活動している。 （効果） このように、氏が取り組んできた活動は、障害のある人の家族の支援のみならず、障害のある人の生きがいに大きく寄与し、市の社会福祉の向上に貢献している。		
その他参考事項			